

- I . 異常発見時の医療介護連携
- II . 退院移行期や急性期の医療介護連携

- I . 異常発見時の医療介護連携

押さえておくべきこと

☑観察項目・・・何か変！と感じたときに確認すべき事
医療者に相談するとき伝えるべき事項

☑医療者に相談すべき状況

☑医療者に相談するまでではない場合、自らが行いうること

共通観察項目

① バイタルサイン

血圧
脈拍数
体温
呼吸回数
SpO2
意識状態

② 基本的な生活情報

食事
排泄
睡眠
生活のご様子（活気など）

JCS

I = 刺激しなくても覚醒している状態
I-0 : 意識がしっかりとある状態
I-1 : すこしはっきりしない部分がある
I-2 : 日付、時刻、場所がいえない
I-3 : 名前、生年月日がいえない

II = 刺激で覚醒するが、やめると意識がなくなる
II-10 : 通常の呼びかけで覚醒する
II-20 : 大声や体を揺さぶると覚醒する
II-30 : 痛み刺激を加えながら呼び続けると

III = 刺激しても覚醒しない
III-100 : 痛み刺激を手で払いのけようとする
III-200 : 痛み刺激でかすかに手を動かしたり顔をしかめる
III-300 : 全く反応しない

急に食べられなくなった

医療者に相談すべき状況

- ・ 食事量が2食続けて普段の1/3以下
- ・ 食べられない以外にいつもと違う症状（発熱、腹部症状（腹痛、下痢、便秘、吐き気など）、意識状態など）がみられる

医療者に相談するまでではない場合、自
らが行いうること

- ・水分摂取を促す
- ・便秘がみられるようなら排便を促す

発熱

医療者に相談すべき状況

- ・ 38°C以上
- ・ 37°C台だが、以下の観察項目の症状がみられる

活気がない/むせや嘔吐/悪寒戦慄/呼吸が速い/息苦しさ/
嘔吐、下痢や腹痛/排尿時痛、尿の濁り

- ・ 37°C台だが、3日間続いている

医療者に相談するまでではない場合、自らが行いうること

- ・ 水分・栄養補給
- ・ 衣類調整
- ・ 室温調整

腹痛

医療者に相談すべき状況

- ・ 腹痛が持続あるいは強い
- ・ 腹痛に加えて嘔吐が2回以上続く
- ・ 腹痛に加えて下痢が1日以上続く
- ・ 腹痛に加えて水分が摂れていない

医療者に相談するまでではない場合、自
らが行いうること

- ・便秘が見られるようなら排便を促す
- ・お腹が冷えないようにする

吐き気・嘔吐

医療者に相談すべき状況

- ・嘔気嘔吐が持続あるいは強い
- ・嘔気嘔吐に加え、食事量が1/3以下
- ・嘔気嘔吐に加え、他にも同症状の人がいる
- ・嘔気嘔吐に加え、いつもとは違う症状がある
(頭痛、めまい、意識レベル低下、転倒、発熱、
精神症状など)

医療者に相談するまでではない場合、自 らが行いうること

- ・消化の良い食事や刺激の少ない飲み物（温かいお茶、白湯、ミネラルウォーター、スポーツドリンク）を少しずつ摂取してもらう

下痢

医療者に相談すべき状況

- ・ 下痢が1日以上つづく
- ・ 下痢に加え、他にも同症状の人がいる
- ・ 下痢に加え、いつもとは違う症状がある
(嘔気嘔吐、腹痛、発熱、血便)

医療者に相談するまでではない場合、自らが行いうること

- ・ 温かい刺激の少ないもの（温かいお茶、白湯、ミネラルウォーター、スポーツドリンク）を少しずつ飲ませてあげる
- ・ 下痢が落ち着くまで水分を中心に摂取してもらう
- ・ 下剤を服用されていれば医療者に報告して中止してもらう

Ⅱ. 退院移行期や急性期の医療介護連携

押さえておくべきこと

- 注意すべき観察項目
- 介護のポイント

心不全

心不全の観察項目

- | | |
|--------|--------------|
| ・ 息切れ | なし/軽度/中等度/重度 |
| ・ 倦怠感 | なし/軽度/中等度/重度 |
| ・ 下腿浮腫 | なし/軽度/中等度/重度 |
| ・ 四肢冷感 | なし/軽度/中等度/重度 |
| ・ 体重 | kg |

心不全の生活上の留意事項

- ・ 塩分を控える
- ・ 水分摂取制限
- ・ 安楽に過ごせる姿勢や体位の工夫
- ・ 運動制限
- ・ 長時間の入浴をさける

肺炎

肺炎の観察項目

- | | |
|--------|--------------|
| ・ 咳 | なし/軽度/中等度/重度 |
| ・ 喀痰の量 | 少ない/普通/多い |
| ・ 色 | 透明/すこし汚い/汚い |
| ・ 息切れ | なし/軽度/中等度/重度 |
| ・ 発熱 | ℃ |

肺炎の生活上の留意事項

- ・ 食事の形態や食事の介助方法の工夫
- ・ 口腔ケア
- ・ 褥瘡予防

褥瘡

褥瘡の観察項目

- ・ 感染徴候
 - 熱感 なし/軽度/中等度/重度
 - 発赤 なし/軽度/中等度/重度
 - 腫脹 なし/軽度/中等度/重度
 - 悪臭 なし/軽度/中等度/重度
- ・ 浸出液の量 少ない/普通/多い
- 性状 きれい/少し汚い/汚い
- ・ 疼痛の程度 なし/軽度/中等度/重度

褥瘡の生活上の留意事項

- ・ 圧迫の軽減（特に薦骨部、かかと、骨が突出している部位ど）
- ・ 体位変換やクッションの位置変更
- ・ スキンケア（清潔・保湿・保護）

COPD

COPDの観察項目

- | | |
|--------|--------------|
| ・ 息切れ | なし/軽度/中等度/重度 |
| ・ 喀痰の量 | 少ない/普通/多い |
| 色 | 透明/すこし汚い/汚い |
| ・ 喘鳴 | なし/少しある/強くある |
| ・ 発熱 | ℃ |

COPDの生活上の留意事項

- ・薬の服用をきっちり施行
- ・酸素吸入をきっちり施行
- ・禁煙
- ・かぜやインフルエンザに注意

尿路感染

脱水

脱水の観察項目

- | | |
|------------|----------------|
| ・ ぼーとする | なし/ときどきある/常にある |
| ・ めまいやふらつき | なし/ときどきある/常にある |
| ・ 皮膚の乾燥 | なし/少しある/強くある |
| ・ 口腔内の乾燥 | なし/少しある/強くある |
| ・ 脇の下の乾燥 | なし/少しある/強くある |

脱水の生活上の留意事項

- ・ 水分をしっかり摂取
- ・ 夏場などでは衣服調整や室温調整

疼痛

疼痛の観察項目

- ・ 痛みの程度 なし/軽度/中等度/重度
- ・ 痛みが睡眠に与える影響
 なし/軽度/中等度/重度
- ・ 頓用薬の使用回数（ここ数日間の平均）
 1個/日以下/1～3回/日/4回/日以上
- ・ 頓用薬の効果 十分ある/あるが不十分/なし

疼痛の生活上の留意事項

- ・ 医師の指示に従った薬の使用ができているか確認
- ・ さする、冷やす、暖めるなどのケア
- ・ 不安の軽減